

## みんなで守ろう！地域の安全

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」をテーマに犯罪や非行のない明るい社会を築こうと全国的に展開している「第60回社会を明るくする運動」市民集会が7月1日、松の館で関係者や市民ら約400人が参加して開催されました。

集会は、福島市長のあいさつに続き、向陽小学校4年の渋谷純平君が「世界に一つだけのぼくたちのつがる市が、心も体も元気な子どもでいっぱいになるように頑張ります」と誓いのことばを述べました。昨年の県保護司会連合会長賞を受賞した車力中学校1年の長谷川華音さんが「心はキラキラの鏡で…」と題して、世界中が美しく輝く鏡（心）でいっぱいになることを願った作文を、県厚生保護女性連盟会長賞を受賞した森田中学校3年の鶴賀谷駿介君が「非行のない社会へ」と題して、非行や犯罪をなくすためお互い注意し合える友だちの大切さについて作文を発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。



長谷川華音さん



誓いのことばを述べる渋谷純平君



鶴賀谷駿介君



県警察音楽隊が演奏を披露し、集会を盛り上げる

## 「つがるの宝」パンフ、DVD、ビデオが完成

つがる市誕生5周年を記念して認定された「つがるの宝」をまとめたパンフレット、DVD、ビデオテープが完成しました。これは貴重な「つがるの宝」を広く市民に知ってもらうとともに県内外につがる市の魅力を情報発信しようと作られたもので、特産品、食文化、伝統文化、景観の4分野22点の宝をカラー写真や映像で紹介しています。市では市内の保育所、幼稚園、小中学校、公民館、宿泊施設、道の駅などに配布し、今後、東北新幹線開業後の新青森駅などにも配布する予定です。



完成した「つがるの宝」パンフレット、DVD、ビデオテープ

## 夏本番！海水浴場で海開き式

7月17日、出来島海水浴場とマグアビーチで海開き式が行われ、福島市長はじめ関係者が参列し、水難事故が発生しないよう安全を祈願しました。

また、海開き式に先立ち、子ども会や地元住民らによるごみ拾いが行われ、マグアビーチでは米陸軍車力通信所や車力分屯基地の関係者も多数参加し、地域の環境美化に貢献しました。

両海水浴場は8月22日まで開設されています。



玉串をささげる福島市長



海岸清掃に汗を流す参加者



会場の大きな声援を受け奮闘する小学生力士

## 小学生力士の熱戦が繰り広げられる

第29回青森県小学生相撲大会兼東北学童相撲大会予選会が7月4日、つがる地球村スポーツパーク相撲場で開催され、県内各地区の予選を勝ち抜いた小学生力士が参加し、手に汗握る熱戦が繰り広げられました。大会は団体戦、個人戦学年別と学年オープンで行われ、日頃鍛えた力と技を競い合いました。団体戦は田子小が優勝、瑞穂小は4位の成績を修めました。個人戦は以下のとおり。(敬称略)

|         |     |             |
|---------|-----|-------------|
| 4年生以下の部 | 優勝  | 菊地 新 (向陽小)  |
|         | 4位  | 小関 拓道 (柏 小) |
| 5年生の部   | 準優勝 | 田中 界渡 (向陽小) |
| 6年生の部   | 優勝  | 越後谷知樹 (瑞穂小) |
| 学年オープン  | 優勝  | 越後谷知樹 (瑞穂小) |

入賞した選手は、8月20日に福島県会津若松市で開かれる東北学童相撲大会に出場します。

## 未来のアスリートたちが全国大会出場を報告

### ■森田中学校相撲部

全国中学校相撲選手権大会青森県予選会(7月3日、十和田市相撲場で開催)で森田中学校相撲部が団体優勝、個人軽量級で外崎亨明君(3年)が優勝、個人で小山内滉君(2年)が5位に入賞し、福島市長に報告しました。団体戦優勝は同校では20年ぶりの快挙で2人は8月の両国国技館で行われる全国都道府県中学生相撲選手権大会と鳥取市での全国中学校相撲選手権大会に出場します。外崎君は「全国大会では上位に食い込めるよう頑張ります」と力強く話しました。



外崎亨明君(左)と小山内滉君(右)

### ■牛潟小陸上部

全国小学生陸上競技交流大会青森県選手選考会(6月27日、県総合運動公園陸上競技場で開催)で牛潟小学校工藤千佳さん(6年)が陸上100mで優勝し、8月の国立競技場で開催される全国大会の出場切符を手にした。また工藤眞弘さん(6年)が同種目で7位入賞、平山ゆりあさん(5年)が走り高跳びで2位の好成績を修め、福島市長に報告に訪れました。

工藤千佳さんは「予選はあまり良くなかったけど決勝でいいタイムが出せた。全国大会では準決勝まで行きたい」と抱負を語りました。



工藤千佳さん(左)、工藤眞弘さん(中)、平山ゆりあさん(右)

### ■瑞穂小 野宮将敬君

第7回全国小学生学年別柔道大会青森県予選会(6月13日、平内町立体育館で開催)で野宮将敬君(瑞穂小6年・五所川原柔道少年団)が6年生男子50キロ超級で優勝し、8月に札幌市で行われる全国大会に出場します。野宮君は1日3時間練習に励み、ここの一番での勝負強さでは県内でも一目置かれており、福島市長に全国大会出場を報告した後「予選を勝ち抜いて決勝まで行けるよう頑張ります」と目標を話しました。



柔道着姿の野宮将敬君



## 歌舞伎の魅力に触れる

6月23日、稲垣西小学校(澤口孝之校長)で日本舞踊・宗家立花流三代宗家・立花寶山さんを招き歌舞伎ワークショップが行われ、児童、地域住民ら約100人が歌舞伎の魅力に触れました。この行事は、子どもたちに生の音楽を聴かせるための活動などを行っている「音の会」(岡本幸治会長)が企画したもので、今年で14回目になります。この日は5人の児童が実際に隈取りをもらい、それぞれの“歌舞伎役者”の姿に大きな拍手がわき上がりました。その後、立花寶山さんが歌舞伎舞踊を披露し、児童たちは生で見る本物の歌舞伎を見入っていました。この日“歌舞伎役者”となった成田兼汰くん(6年)は「めったにできない体験ができてうれしかった。初めて見た踊りはすごい迫力だった」と話していました。

## アイガモさん除草お願いします

瑞穂小学校(一戸瑞校長)の5年生50人が6月23日、学校田(2.5㍍)へ除草・除虫をしてくれるアイガモ5羽を放しました。同校は、ごしょつがる農協「おいしいごはんを作る会」(浜山敏彦会長)の指導を受けながら、アイガモ農法での米作りを勉強しており、6月4日につがるロマンの田植えを行いました。会員の高橋金義さんから「アイガモは人を怖がるので、餌をあげる時は驚かさないう優しく接して」と餌のやり方などの指導を受け、代表の児童がアイガモを田んぼへ放した後、全員で観察をしました。同校ではアイガモの世話や稲の成長を観察し、秋には稲刈りと脱穀作業の体験も予定しています。



## 海開き前の海岸清掃ボランティア

木造中学校(三浦正人校長)の2年生130人と保護者ら約20人が7月9日、出来島海水浴場の海岸を清掃奉仕しました。

海岸清掃は、旧木造西中学校の生徒たちがボランティア活動として行っていた伝統を引き継いで行われたもので、生徒たちは砂浜に散乱する空き缶、プラスチック類、木材などを拾い集め、環境美化に貢献していました。

2学年生徒会長の三橋拓斗君は「自分たちが少しでもきれいにすることで、来た人が気持ちよく使ってくれればいいなと思い拾い集めました」と話していました。

## 自慢の津軽風が夏空を彩る

第10回つがる市柏風揚げ大会が7月18日、稲垣町の岩木川河川公園で開催され、県内外から21団体約150人の愛好者が参加し、風揚げの腕を競いました。

同大会は、青森県風の会連合会(横山勇一会長)が主催。競技は子供の部、県外伝統風の部、一般の部、大風の部に分かれて行われ、風の揚げ方、安定度、鳴りなどを競い合っていました。この日は曇空でしたが、風に恵まれ、自慢の津軽風が大空を彩り会場からは大きな歓声がわき上がっていました。



## コンテナガーデニング教室

7月3日、柏公民館でコンテナガーデニング教室が行われ、市民ら12人が参加しました。

同教室に講師として招かれたグリーンコーディネーターの桜庭み子さんは「きちんと管理し、温度が高ければ秋まで楽しむことができます。大事に育てれば来年も楽しめます」と話していました。参加者は、夏の暑さに強いディプラデニア、カラミンサ、アングロニア、ブルースターなどの植物を組み合わせながら鉢に寄植えし、完成させた鉢植えの出来栄を見せ合ったりしながら楽しんでいました。

## メロン・スイカを盗難から守ろう

メロン、スイカの本格的な収穫時期に入ることから、盗難を未然に防ぎ、生産者が安心して収穫できるよう防犯協会、警察署、市、防犯指導隊、自主防犯パトロール隊が連携して「メロンロードパトロール隊」を結成し、盗難防止のパトロールに努めています。

7月20日、市役所正面玄関で行われた出動式では隊員約50人が出席し、代表の横山武雄氏が「“地域の安全は地域で守る”を合い言葉にパトロール活動を強化します」と決意表明をしました。その後、十数台の車に分かれてメロンやスイカ畑周辺のパトロールを実施しました。



## 反射材で高齢者の事故防止

キラリ☆はつきり隊(成田弘志隊長)、交通安全シルバー先生、つがる警察署(鷹山誠署長)が6月29日、市役所玄関前で来庁者の靴に反射材を貼りながら、高齢者の交通事故防止を呼びかけました。

キラリ☆はつきり隊は、交通安全の呼びかけや反射材を貼ることで、高齢者の交通事故を防ごうと平成20年に結成され、市内の温泉施設や高齢者施設を訪問し、高齢者の靴に反射材を貼るなどの活動を行っています。

この日、同隊員らは反射材を貼った後、飲酒運転撲滅や歩行者・自転車の注意を促すパンフレットを渡し、交通安全を呼びかけていました。

## 第19回@ffあおり映画祭 縄文メロンアワード2010

「縄文メロンアワード2010」が7月4日、松の館で開催され、市民ら約400人が映画を楽しみました。午前は、「きなり〜見習い警察犬の物語〜」が上映され、上映後、福島市長から小林義則監督へ「ワンドフル感動賞」が贈られました。小林監督と宮忠臣ドッグトレーナー、きなり役のラブラドル・リトリバーが特別ゲストとして登場すると会場からは歓声が上がり、小林監督は「映画を見て、家族で犬の話題で語り合ってもらえたら」と話していました。午後は、つがる市男女共同参画推進映画上映会で、中学生とおばあちゃんの交流から生きることの豊かさを描いた「西の魔女が死んだ」が上映されました。

会場では、市特産のメロンの試食も行われ、訪れた人々は映画祭を満喫していました。



## パフォーマンスストリート「有楽町商店街」

有楽町商店街イベント実行委員会が7月18日、第2回有楽町商店街歩行者天国を開催し、多くの市民らで賑わいました。

有楽町商店街若手店主らが企画する歩行者天国は、昨年のジャズストリートに続き、今年はパフォーマンスストリートと題し、大道芸、バルーンアート、マジック、よさこいなどさまざまなパフォーマンスが行われ、観客は気に入ったパフォーマーに投票していました。沿道ではフリーマーケットや軽食などの出店が多数立ち並び、商店街は活気にあふれていました。また、市赤十字奉仕団による赤十字活動PRコーナーも設けられ、そうめんや飲み物が振る舞われました。

## コミュニティビジネスセミナー in つがる市

青森県、特定非営利活動法人NPO推進青森会議の主催による「コミュニティビジネスセミナー in つがる市」が6月28日、関係者ら約100人が参加して松の館で開催されました。

同セミナーでは、地域の課題を住民が主体的に解決するための活動であるコミュニティビジネスについて、講演や意見交換が行われました。あおりコミュニティビジネスサポートセンターの三上亨所長は講演で「自分自身も関わっていることを意識し、さまざまな関係者が協働で地域経営に関わる必要がある」と話していました。その後、特定非営利活動法人つがる夢庭志仙会と元気おたすけ隊が事例報告を行い、活動の課題などについて意見を交換しました。

